

プレ公示案件への質問回答

【競争参加者様へ：留意点】

プレ公示段階での質問回答での回答内容は、企画競争説明書／入札説明書の段階で変更の可能性があります。

※掲載方法を公示予定日が早い順に案件ごとまとめて掲載いたします。新たに掲載いたしました質問回答についてはセルを水色にしております。

2026年4月1日 更新

| 公示予定日     | 調達管理番号         | 案件名   | 担当部・課              | 質問内容  | 回答  | 回答日        |
|-----------|----------------|---|--------------------|---|---|------------|
| 2026年4月1日 | 26a00059000000 | 中米地域(広域)中米物流戦略回廊の道路アセットマネジメント及び持続性のための域内公共事業・運輸省技術的能力強化プロジェクト | 社会基盤部運輸交通グループ      | 対象は「道路・橋梁(カルバートを含む)」とありますが、「道路」について、どのような対象物かご教示願います。   | 「道路」に関しては、舗装のみを指すのではなく、道路本体及び擁壁・法面・排水施設などの道路構造物全般を含むものとして整理しています。   | 2026年4月1日  |
| 2026年4月1日 | 26a00078000000 | ラオス国マルチステークホルダーとの連携によるフードバリューチェーン振興プロジェクト                     | 経済開発部農業・農村開発第一グループ | 個別面談を希望致します。コンサルタントに特に期待する点などについてお話をお伺いしたいです。   | 公示情報にてご確認ください。  | 2026年4月1日  |
| 2026年4月1日 | 26a00078000000 | ラオス国マルチステークホルダーとの連携によるフードバリューチェーン振興プロジェクト                     | 経済開発部農業・農村開発第一グループ | -「フードバリューチェーン強化プロジェクト」で策定されたマスタープラン及びその中の優先プロジェクト・プログラムと、本プレ公示案件の関係<br>- 現段階で貴機構が認識しているフードバリューチェーン上の具体的課題と本プレ公示案件で能力強化の焦点となる事項及びその主な対象者<br>- 貴機構が進める市場志向型農業振興(SHEP)アプローチとの関連性の有無(関連がある場合は、本案件でイメージする具体的な取り組みの内容)  | 本事業の実施自体がマスタープランの推進に貢献するものとなります。その他の点については公示情報にてご確認ください。  | 2026年4月1日  |
| 2026年4月1日 | 26a00078000000 | ラオス国マルチステークホルダーとの連携によるフードバリューチェーン振興プロジェクト                     | 経済開発部農業・農村開発第一グループ | 「国内近代市場における民間企業、生産者、その他関係機関の現状調査と、同調査結果に基づきFVCに関連するパイロット活動を計画及び実施」とございですが、前回案件のマスタープランと同じパイロット活動を計画及び実施することを想定しておりますか。もしくは国内近代市場に対応する技術リスト(49リストのうち)から選択することを想定しておりますでしょうか。<br>◆ピエンチャン都: 複合営農の振興と鮮度保持技術の検証<br>輸入代替に向け、野菜栽培(青ネギなど)と漁業(ティラピアなど)の複合営農法の確立を目指す活動<br>◆近代市場での流通・販売を見据えた活動として、ピエンチャン市内のレストランにおいて、青ネギを対象に野菜や果物の鮮度を長期間維持するための「加工フィルム」を用いた簡易試験が実施 | 本事業で実施予定のパイロット活動は、先行案件のパイロット活動や技術リストから選択することは想定しておらず、本調査で実施予定の現状調査の結果を基に検討する想定です。   | 2026年4月1日  |
| 2026年4月1日 | 26a00078000000 | ラオス国マルチステークホルダーとの連携によるフードバリューチェーン振興プロジェクト                     | 経済開発部農業・農村開発第一グループ | 業務主任者に求められるポジションとしてはアグリビジネスやマーケティングでしょうか。<br>それともより横断的なPPCPの推進やFVCの強化でしょうか。   | 公示情報をご確認ください。   | 2026年4月1日  |
| 2026年4月1日 | 26a00078000000 | ラオス国マルチステークホルダーとの連携によるフードバリューチェーン振興プロジェクト                     | 経済開発部農業・農村開発第一グループ | 国内近代市場におけるということなので、マスタープランで提唱された3つのFVC型のうち国内伝統市場、輸出市場は今回は考慮しなくてよろしいでしょうか。   | 基本的には国内近代市場を対象とする想定ですが、国内近代市場のみが独立して存在するものではなく、国内伝統市場や輸出市場についても一定程度付随して考慮してください。  | 2026年4月1日  |
| 2026年4月1日 | 26a00078000000 | ラオス国マルチステークホルダーとの連携によるフードバリューチェーン振興プロジェクト                     | 経済開発部農業・農村開発第一グループ | コンサルタントに特に期待する点などについてお話をお伺いしたいです。   | 回答準備中です。  | 2026年3月25日 |
| 2026年4月1日 | 26a00110000000 | アフリカ地域(広域)アフリカ地域「インド洋・アフリカ経済圏イニシアティブ」の具体化に関する基礎情報収集・確認調査      | アフリカ部計画・TICAD推進課   | 当該案件の目指すところや調査内容についてご面談(オンラインを想定)にてもう少し詳しくおうかがいできないでしょうか。   | 本調査結果を踏まえて、ODAの枠組みに加えて非ODAの枠組みも活用して案件形成することを目指している。本調査は国内および現地の双方での調査を想定しているが、事前調査の時点で詳細な調査をする産業を絞り込むことも考えられる。  | 2026年4月1日  |
| 2026年4月1日 | 26a00110000000 | アフリカ地域(広域)アフリカ地域「インド洋・アフリカ経済圏イニシアティブ」の具体化に関する基礎情報収集・確認調査      | アフリカ部計画・TICAD推進課   | 他ドナーや国際機関の支援の方向性も調査の対象になるのでしょうか   | ODAの枠組みに加えて非ODAの枠組みも活用して案件形成することを目指しているため、他機関の動向も調査対象となり得る。   | 2026年4月1日  |
| 2026年4月1日 | 26a00110000000 | アフリカ地域(広域)インド洋・アフリカ経済圏イニシアティブの具体化に関する情報収集・確認調査(QCBS-ランプサム型)   | アフリカ部計画・TICAD推進課   | 調査内容②と③それぞれに、JETROが含まれていますが、②は日本国内でJETROにヒアリングを行い、③は現地調査にて現地にあるJETRO事務所にヒアリングを行う、という2段階でのヒアリングと理解することで良いでしょうか。また、民間企業団体へのヒアリングは実施するものの、本邦企業個社へのヒアリングは想定されていない(ハイブリッド型セミナーでの意見交換で代替する)との理解でしょうか。   | 国内および現地の双方での調査を想定しておりますが、その両方でJETROにヒアリングを行う必要は必ずしもありません。ヒアリング先は目的に応じて関連機関・企業などから選定することを想定しております。また、本邦企業個社へのヒアリングも先行する調査を深めるために必要であれば調査対象となり得ます。なお、セミナーは、広くアフリカでのビジネスに関心がある日本企業関係者向けとして、中間時点での調査結果の共有・意見交換などを主な目的としています。セミナーの規模は対面で100名程度とし、オンラインでの参加者数に制限を設ける想定はありません。 | 2026年3月25日 |

| 公示予定日     | 調達管理番号         | 案件名   | 担当部・課            | 質問内容  | 回答  | 回答日        |
|-----------|----------------|---|------------------|---|---|------------|
| 2026年4月1日 | 26a00110000000 | アフリカ地域(広域)インド洋・アフリカ経済圏イニシアティブの具体化に関する情報収集・確認調査(QCBS-ランプサム型) | アフリカ部計画・TICAD推進課 | 求められる専門性に「産業共創・スタートアップ支援・人材育成」がありますが、貿易・投資環境の検討において、アフリカ現地の人材育成も検討予定でしょうか。  | 本調査を通じて今後の協力の方向性を検討するにあたり、外務省が公開しているインド洋・アフリカ経済圏イニシアティブの行動指針に即することを想定しており、現地の人材育成も検討対象となり得ます。(人材育成は上記行動指針のうち、「取組の方向性(3)共創・共業を基礎とした域内産業の発展と雇用創出」に含まれております)<br>※参考<br>インド洋・アフリカ経済圏イニシアティブ:行動指針<br><a href="https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100891247.pdf">https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100891247.pdf</a>   | 2026年3月25日 |
| 2026年4月1日 | 26a00110000000 | アフリカ地域(広域)インド洋・アフリカ経済圏イニシアティブの具体化に関する情報収集・確認調査(QCBS-ランプサム型) | アフリカ部計画・TICAD推進課 | 当該案件の目指すところや調査内容についてもう少し詳しくおうかがいできないでしょうか。  | 回答準備中です。  | 2026年3月25日 |
| 2026年4月1日 | 26a00110000000 | アフリカ地域(広域)インド洋・アフリカ経済圏イニシアティブの具体化に関する情報収集・確認調査(QCBS-ランプサム型) | アフリカ部計画・TICAD推進課 | 他ドナーや国際機関の支援の方向性も調査の対象になるのでしょうか   | 回答準備中です。  | 2026年3月25日 |
| 2026年4月1日 | 26a00110000000 | アフリカ地域(広域)インド洋・アフリカ経済圏イニシアティブの具体化に関する情報収集・確認調査(QCBS-ランプサム型) | アフリカ部計画・TICAD推進課 | 本件では、業務管理グループの設定を検討されていますか。   | 業務管理体制については、現時点では確定しておらず、①業務主任者のみの場合と②業務管理グループを設定する場合の双方の場合を想定しています。  | 2026年3月11日 |
| 2026年4月1日 | 26a00110000000 | アフリカ地域(広域)インド洋・アフリカ経済圏イニシアティブの具体化に関する情報収集・確認調査(QCBS-ランプサム型) | アフリカ部計画・TICAD推進課 | アフリカの対象3カ国は、これらの国はJICA様側であらかじめ指定されるのでしょうか。それとも、当方から根拠を示した上で対象国を選定・提案することが求められるのでしょうか。調査団で決定して良い場合には、どのような基準で選定することを想定されていますか。     | JICAとしてはインド洋諸国とのつながりのある人材・企業の規模や日系企業からの注目度などインド洋諸国との歴史的・経済的つながりを基準としてケニア・南アフリカ・タンザニアの3カ国を主な対象国として検討しておりますが、基準を含めより適当と考えられる国が考えられる場合にはプロポーザルにて提案いただくことも予定しています。  | 2026年3月11日 |
| 2026年4月1日 | 26a00110000000 | アフリカ地域(広域)インド洋・アフリカ経済圏イニシアティブの具体化に関する情報収集・確認調査(QCBS-ランプサム型) | アフリカ部計画・TICAD推進課 | 連携候補国として「インド、UAE等」と記載されていますが、「等」に含まれるその他の具体的な注力対象国(サウジアラビアなどの他の中東諸国や、その他のインド洋沿岸国など)の想定や優先順位はありますか。コンサルタントからの連携候補国を提案を求めているのでしょうか？ | インド・UAE以外ではトルコを有力対象国として想定しておりますが現時点で優先順位はつけておりません。ただし、その他の国の可能性を排除はしておらず、より適当と考えられる国が考えられる場合にはプロポーザルにて提案いただくことも予定しています。   | 2026年3月11日 |
| 2026年4月1日 | 26a00110000000 | アフリカ地域(広域)インド洋・アフリカ経済圏イニシアティブの具体化に関する情報収集・確認調査(QCBS-ランプサム型) | アフリカ部計画・TICAD推進課 | 日本国内にてハイブリッド型のセミナーの開催について、想定されている参加者規模や、主要なターゲット層のイメージを教えてください。   | セミナーは連携対象国の日本企業関係者向けとして、中間時点での調査結果の共有・意見交換などを主な目的とし、時期は2026年10月頃、開催地は東京を想定していますが、詳細は現地調査結果を踏まえ、協議を経て決定します。  | 2026年3月11日 |
| 2026年4月1日 | 26a00110000000 | アフリカ地域(広域)インド洋・アフリカ経済圏イニシアティブの具体化に関する情報収集・確認調査(QCBS-ランプサム型) | アフリカ部計画・TICAD推進課 | 本案件の狙いや想定活動・リソースの必要性等を本公示の前に可能な限り理解させていただきたい  | 本案件は、外務省・経産省が打ち出したイニシアティブ等(※)の具体化に向けて、主にサブサハラ・アフリカ地域において、JICAのハード面・ソフト面の協力を含むODA及び非ODA事業を洗い出すことを目的として、プレ公示に示された、(アフリカ3カ国での現地調査を含む)調査活動・セミナーを行うものです。リソースについては、「留意②:6分野の業務従事者の専門性」を求めますが、より適当な業務従事者の構成・専門性をプロポーザルにて提案頂くことも予定しています。<br>(※)関連イニシアティブ<br>インド洋・アフリカ経済圏イニシアティブ: <a href="https://www.mofa.go.jp/mofaj/pageit_000001_02262.html">https://www.mofa.go.jp/mofaj/pageit_000001_02262.html</a><br>日印産業共創イニシアティブ: <a href="https://www.meti.go.jp/press/2023/07/20230721005/20230721005-a.pdf">https://www.meti.go.jp/press/2023/07/20230721005/20230721005-a.pdf</a><br>日本アフリカ産業共創イニシアティブ:<br><a href="https://www.meti.go.jp/press/2025/08/20250822001/20250822001-1.pdf">https://www.meti.go.jp/press/2025/08/20250822001/20250822001-1.pdf</a><br>NIKKEI CHANNEL日本・インド・アフリカフォーラム: <a href="https://channel.nikkei.co.jp/jia2025j/">https://channel.nikkei.co.jp/jia2025j/</a><br>アフリカの持続可能な経済発展のための日印協カイニシアティブについて:<br><a href="https://www.meti.go.jp/press/2024/02/20250227001/20250227001-1.pdf">https://www.meti.go.jp/press/2024/02/20250227001/20250227001-1.pdf</a><br>経営幹部育成を基盤とした日印共創ビジネス交流促進:<br><a href="https://www.jica.go.jp/oda/project/201903802/index.html">https://www.jica.go.jp/oda/project/201903802/index.html</a> | 2026年3月11日 |
| 2026年4月1日 | 26a00111000000 | AfCFTA実施支援(主にデジタル貿易)に関する情報収集・確認調査(QCBS-ランプサム型)              | アフリカ部計画・TICAD推進課 | 業務内容に「サイバーセキュリティ対策の試行的実施」が含まれていますが、試行的実施の方法についても、コンサルタントからの提案を求める予定でしょうか。また、対象3カ国全てで実施する想定でしょうか。                                  | 「サイバーセキュリティ対策の施行的実施」は具体的には、対象国のサイバーセキュリティに関する基本情報を収集した上で実施する、サイバーセキュリティに関するワークショップを指します。これらの内容についてはコンサルタントからの提案を求める予定です。また、ワークショップはガーナ国内で実施されますが、参加者はAfCFTA加盟国から募る形となります。(詳細は公開される本公示を参照ください)   | 2026年3月25日 |
| 2026年4月1日 | 26a00111000000 | AfCFTA実施支援(主にデジタル貿易)に関する情報収集・確認調査(QCBS-ランプサム型)              | アフリカ部計画・TICAD推進課 | 日本企業のアフリカ進出状況の調査については、デジタル貿易に関連するサービスなどに限らず、すべての業種を対象としておりますでしょうか。  | 案件名にありますとおり、デジタル貿易に関する業種、サービスを中心とした調査を想定しております。   | 2026年3月25日 |
| 2026年4月1日 | 26a00111000000 | AfCFTA実施支援(主にデジタル貿易)に関する情報収集・確認調査(QCBS-ランプサム型)              | アフリカ部計画・TICAD推進課 | AfCFTIに関する情報収集も上記3カ国が対象という理解で相違ないでしょうか。それともパイロット・フェーズを実施した8カ国など、広範囲の調査を想定しておりますでしょうか。   | AfCFTAに関する情報収集は、上記3カ国に加えて、北部を除く4地域(西部・中部・南部・東部)から1カ国ずつを想定しています。   | 2026年3月25日 |

| 公示予定日     | 調達管理番号         | 案件名  | 担当部・課              | 質問内容  | 回答  | 回答日        |
|-----------|----------------|--|--------------------|---|---|------------|
| 2026年4月1日 | 26a00111000000 | AfCFTA実施支援(主にデジタル貿易)に関する情報収集・確認調査(QCBS-ランブサム型)             | アフリカ部計画・TICAD推進課   | デジタル貿易プロトコルの概要に関する調査とはもう少し具体的にどのような調査を想定しているのか可能な範囲で教えてください。  | 各国におけるデジタル貿易の分野(デジタルID、電子署名、電子決済の現状、サイバーセキュリティの法整備状況、体制等、デジタルインフラの整備状況、フィンテックの現状等)に関する調査を想定しています。<br>デジタル貿易プロトコルの詳細はこちらをご覧ください。<br>EN_READY PROTOCOL ON DIGITAL TRADE - clean<br><br><a href="https://au.int/sites/default/files/treaties/45079-treaty-EN_AfCFTA_Protocol_on_Digital_Trade.pdf">https://au.int/sites/default/files/treaties/45079-treaty-EN_AfCFTA_Protocol_on_Digital_Trade.pdf</a>  | 2026年3月25日 |
| 2026年4月1日 | 26a00111000000 | AfCFTA実施支援(主にデジタル貿易)に関する情報収集・確認調査(QCBS-ランブサム型)             | アフリカ部計画・TICAD推進課   | 貿易・投資環境(ソフト・ハード)の調査に関してもう少しどのような調査を想定しているのか可能な範囲で教えてください。(AfCFTAにおいて、フェーズ1は物品貿易、サービス貿易、紛争解決の分野、フェーズ2は競争、投資、知的財産、電子商取引、女性と若者の分野を対象としているとのことですので、この分野における貿易・投資環境のソフト・ハードを調査するという理解でしょうか。) | 案件名にありますとおり、フェーズ2の電子商取引(デジタル貿易)を中心とした調査を想定しております。   | 2026年3月25日 |
| 2026年4月1日 | 26a00111000000 | AfCFTA実施支援(主にデジタル貿易)に関する情報収集・確認調査(QCBS-ランブサム型)             | アフリカ部計画・TICAD推進課   | 本案件の狙いや想定活動・リソースの必要性等を本公示の前に可能な限り理解させていただきたい  | 本案件は、アフリカ大陸自由貿易圏(AfCFTA)の実施促進に向けて、主にサブサハラアフリカ(コートジボワール、ガーナ、ルワンダを含む)において、主にデジタル貿易プロトコルの概要を中心としたAfCFTAに関する調査活動やセミナー、サイバーセキュリティの試行的実施を通じて、今後のAfCFTA実施促進に関するJICAの協力案を洗い出すことを目的としています。リソースについては、FTAの調査にかかる貿易促進、投資、そしてデジタル貿易(サイバーセキュリティやデジタル、IT等)の調査・セミナーの実施を想定しているところ、「留意②:業務従事者の専門性」を求めます。  | 2026年3月25日 |
| 2026年4月1日 | 26a00111000000 | AfCFTA実施支援(主にデジタル貿易)に関する情報収集・確認調査(QCBS-ランブサム型)             | アフリカ部計画・TICAD推進課   | 本件では、業務管理グループの設定を検討されていますか。   | はい、検討しております。  | 2026年3月25日 |
| 2026年4月1日 | 26a00111000000 | AfCFTA実施支援(主にデジタル貿易)に関する情報収集・確認調査(QCBS-ランブサム型)             | アフリカ部計画・TICAD推進課   | 対象3か国の選定理由を教えてください。特にルワンダは地域的に離れているため、3か国のデジタル貿易や、貿易・投資の関係性や相乗効果をどのように想定しているのでしょうか。   | AfCFTAにおけるデジタル貿易(サイバーセキュリティ)分野における成長見込みや日本企業の関心が高い等の観点から、当該3か国を対象としております。3か国間の貿易での相乗効果は想定しておらず、3か国を拠点としたデジタル貿易の促進を想定しております。   | 2026年3月25日 |
| 2026年4月1日 | 26a00124000000 | アフリカ地域(広域)先進農業技術の導入を通じた共創型ビジネス展開に係る情報収集・確認調査(QCBS-ランブサム型)  | 経済開発部農業・農村開発第二グループ | 本案件の実施に対し貴機構が期待されている内容イメージについて確認させていただきたく、個別面談を希望します  | 公示情報にてご確認ください。  | 2026年4月1日  |
| 2026年4月1日 | 26a00124000000 | アフリカ地域(広域)先進農業技術の導入を通じた共創型ビジネス展開に係る情報収集・確認調査(QCBS-ランブサム型)  | 経済開発部農業・農村開発第二グループ | 本案件の狙いや想定活動・リソースの必要性等を本公示の前に可能な限り理解させていただきたい  | 本調査では、AFICAT有識者会合(2025年12月)で確認したAFICATの3つのコア機能およびJICA内外スキームとの連携機能に基づき、活動を実施します。具体的には、日本国内における企業向けの情報提供およびアドバイザー業務を中心に行いながら、現地展示会への参加支援にも取り組むことで、AFICATの更なる推進を図ることを目的としています。<br>(参照:<br><a href="https://www.jica.go.jp/activities/issues/agricul/jipfa/_icsFiles/afieldfile/2025/12/22/02_20251218.pdf">https://www.jica.go.jp/activities/issues/agricul/jipfa/_icsFiles/afieldfile/2025/12/22/02_20251218.pdf</a> )<br>また、本調査では、新たにアグリテック・フードテック分野を対象に含めるとともに、外部機関との連携を積極的に促進することを期待しています。 | 2026年3月11日 |
| 2026年4月1日 | 26a00125000000 | ウクライナ国日本ウクライナ産業共創促進情報収集・確認調査(ファスト・トラック制度適用案件)(QCBS-ランブサム型) | 中東・欧州部ウクライナ支援室     | 「ドローン/ロボティクス」、「電子政府/AI」とセットになっている意図をご教示いただけますでしょうか?   | 社会課題解決に活用可能性のある分野・フィールドに近いのではないかと考え、記載のセットにいたしました。  | 2026年4月1日  |
| 2026年4月1日 | 26a00125000000 | ウクライナ国日本ウクライナ産業共創促進情報収集・確認調査(ファスト・トラック制度適用案件)(QCBS-ランブサム型) | 中東・欧州部ウクライナ支援室     | 「日本を含む各国の社会課題解決へと応用可能性を広げていく」とありますが、日本以外で具体的に想定している国や地域はありますか?  | 現時点では、日本以外で具体的に想定している国や地域はありません。  | 2026年4月1日  |
| 2026年4月1日 | 26a00125000000 | ウクライナ国日本ウクライナ産業共創促進情報収集・確認調査(ファスト・トラック制度適用案件)(QCBS-ランブサム型) | 中東・欧州部ウクライナ支援室     | 本邦招聘の目的は日本・ウクライナ企業のマッチングとのことですが、対象三分野の有望な現地企業関係者を招聘する想定でしょうか?   | ご理解の通り、対象三分野の有望な現地企業関係者を招聘する想定です。加えて、当該分野のウクライナ政府関係者や業界団体からの招聘が効果的であれば、招聘の対象とする想定です。  | 2026年4月1日  |
| 2026年4月1日 | 26a00125000000 | ウクライナ国日本ウクライナ産業共創促進情報収集・確認調査(ファスト・トラック制度適用案件)(QCBS-ランブサム型) | 中東・欧州部ウクライナ支援室     | 本邦招聘での訪問先として想定される企業・自治体・大学等は分野ごとに異なると思いますが、招聘を3回実施または1回の招聘で3グループに分かれて行動する想定でしょうか?   | ご指摘の通り訪問先が分野ごとに異なることが想定されるため、公示資料に記載の招聘回数を前提に、一部の日程は全員一致で行いつつ、一部の日程はグループに分かれて行動する等で調整する想定です。  | 2026年4月1日  |
| 2026年4月1日 | 26a00125000000 | ウクライナ国日本ウクライナ産業共創促進情報収集・確認調査(ファスト・トラック制度適用案件)(QCBS-ランブサム型) | 中東・欧州部ウクライナ支援室     | 現地への渡航は想定されていますでしょうか?   | 現地への渡航を想定しています。   | 2026年4月1日  |

| 公示予定日     | 調達管理番号         | 案件名                       | 担当部・課         | 質問内容   | 回答  | 回答日        |
|-----------|----------------|---------------------------|---------------|--|---|------------|
| 2026年4月8日 | 26a00081000000 | ラオス国国道9号線における橋梁架け替え計画準備調査 | 社会基盤部運輸交通グループ | <p>外務省が公開している本事業の「案件概要書」(<a href="https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/files/100979736.pdf">https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/files/100979736.pdf</a>)を見ると、「ベトナム国境に近い峡谷を挟むホワイコック1号橋及びホワイタポアン橋の損傷度合は著しく、現状のままでは崩落する危険性が指摘されている。」との記載がありますが、国道9号選には、ホワイコック1号橋と同年にロシアの支援で建設された橋梁や、ホワイ・タ・ポアン橋と同年にベトナムの支援により建設された橋梁(うちホワイ・タ・ポアン橋を含む5橋は橋長が50mを超える)が複数架かっており、老朽化や危険性の度合いは、いずれも同程度と考えられます。</p> <p>特に、事業対象のホワイコック1号橋の東に架かる1987年供用のXe Bang Hiang橋は、国道9号線では最長の200m以上の橋長を有し、一度損傷すれば、国道9号線の物流にとって最大のボトルネックとなる橋梁です(それが故、ベトナム戦争時の爆撃で破壊されている)。</p> <p>こうした状況の中、本事業対象2橋を選定した妥当性の根拠となる資料(これまでのJICA事業、もしくはラオス側で国道9号線の全橋梁の橋梁点検等を行った資料等)があれば、公示時の配布資料として準備・共有をお願い致します。</p> | 公示時に配布可能な資料があれば、配布いたします。  | 2026年4月1日  |
| 2026年4月8日 | 26a00081000000 | ラオス国国道9号線における橋梁架け替え計画準備調査 | 社会基盤部運輸交通グループ | <p>同「案件概要書」には、「橋長が長く、また、深い峡谷に架かる橋梁という技術的難度の高さから、十分な修繕には至っていない。」との記載がありますが、事業対象2橋は、小規模な支線河川(もしくは旧河道)に架かる小規模な橋梁であり、特段、高い技術的難度を要する橋梁には当たらない、と考えます。</p> <p>つきましては、本事業について、JICAが、技術的に難度が高い、と判断する特殊な条件等があれば、具体的に教えてください。</p>   | 案件概要書に記載している以外(深い峡谷等)に特殊な条件はございません。   | 2026年4月1日  |
| 2026年4月8日 | 26a00081000000 | ラオス国国道9号線における橋梁架け替え計画準備調査 | 社会基盤部運輸交通グループ | <p>同「案件概要書」の「(2)期待される開発効果」には、「当該2橋梁の大型車交通量(万台/年)が増加する(44.7→64.3万台/年)」、「当該2橋梁が位置するセポン〜ドン区間の貨物輸送量(万トン/年)が増加する(714.0→1027.6万トン/年)」との記載があります。</p> <p>他方、こちらの開発効果が実際に発現するかどうかは、9号線全体で最も耐荷重の低い(架け替えが完了していない)橋梁に依存します。</p> <p>また、対象2橋梁は、主としてベトナム-ラオス間の国境地域の都市間の往来に使用されています(ラオス発着の物流は、タイ-ラオス間が主、ベトナム-タイ間のクロスボーダー物流は、海上コンテナが主)。</p> <p>さらに、ベトナム側のデンサワン国境から事業対象地域までの国道9号線には、Weight Bridgeが設置されておらず(9号線にはサワンナケートの東50kmの地点に1箇所あり)、上記の開発効果が、本プロジェクトによる事業効果なのか、測定(ベースライン値、エンドライン値)が困難です。</p> <p>つきましては、かかる指標の設定に係る根拠についてご教えてください。</p>  | 案件概要書に記載のある大型交通量及び貨物輸送量は、技術協力プロジェクト「道路アセットガバナンス改善プロジェクト」で実施した交通量調査の結果を基に記載しております。開発効果については、プロポーザルでご提案いただけますと幸いです。   | 2026年4月1日  |
| 2026年4月8日 | 26a00081000000 | ラオス国国道9号線における橋梁架け替え計画準備調査 | 社会基盤部運輸交通グループ | <p>プロポーザルの作成に当たり、事業対象の2橋の正確な位置を特定し、必要な調査の内容・範囲及び費用を検討し、技術提案書、及び入札書(見積書)に反映する必要がありますので、特記仕様書の作成に当たっては、各橋梁の正確な位置情報(GPS座標、kmzファイル、等)の提供をお願い致します。</p>  | 各橋梁の正確な位置情報は下記の通りです。<br>Houay Kok1橋<br>16° 42'06.9"N 106° 12'01.4"E<br><a href="https://maps.app.goo.gl/vC5jpb7kzQk1V3T37">https://maps.app.goo.gl/vC5jpb7kzQk1V3T37</a><br>Houay Ta Phouan橋<br>16° 39'09.7"N 106° 20'20.0"E<br><a href="https://maps.app.goo.gl/1ivjZAZF7xTYGkuZ6">https://maps.app.goo.gl/1ivjZAZF7xTYGkuZ6</a> | 2026年3月25日 |

| 公示予定日     | 調達管理番号         | 案件名  | 担当部・課             | 質問内容   | 回答  | 回答日        |
|-----------|----------------|--|-------------------|--|---|------------|
| 2026年4月8日 | 26a00081000000 | ラオス国国道9号線における橋梁架け替え計画準備調査                                    | 社会基盤部運輸交通グループ     | <p>事業対象の2橋が架かる地域は、ベトナム戦争時に最も激しいクラスター爆弾の空爆を受けた激戦地として、ラオス国内はもとより、全世界の中でも最も不発弾(UXO)に汚染された地域の一つであり、戦後50年以上が経過した現在においても、不発弾による地域住民の被害が後を絶たない地域です。</p> <p>準備調査においては、対象橋梁の周辺において、橋梁点検、測量調査、ボーリング調査、水文調査等の調査を実施することを想定していますが、対象橋梁の周辺では、既にラオス政府側によりUXOの探査及び処理は全て完了していると考えてよろしいでしょうか。</p> <p>なお、準備調査においては、仮設迂回路や道路本線の線形の変更等も検討する必要があるため、最低でも各橋梁の前後200m程度の区間、かつ道路中心線から両側100m程度の範囲においてUXOの探査及び処理が必要になります。</p> <p>特に、本調査は、調査期間が現地の雨季(5月～10月)に重なり、雨季においては、河川の水位の上昇や樹木・雑草の繁茂により、UXOの探査及び処理が困難になりますので、特に注意が必要です(乾季になった際に低地の河岸を中心にUXOが暴露するリスクあり)。</p> | 現在、ラオス政府に確認しております。  | 2026年3月25日 |
| 2026年4月8日 | 26a00081000000 | ラオス国国道9号線における橋梁架け替え計画準備調査                                    | 社会基盤部運輸交通グループ     | <p>もし、プレ公示の時点でUXOの処理が完了していない場合は、UXOの処理が完了した後に準備調査の現地調査を開始できるよう、ラオス政府側との事前の調整及びUXOの処理の実施をお願い致します(雨季が始まる前の2026年4月末までを目途)。</p> <p>なお、受注者の従業員の安全配慮義務の観点から、準備調査に従事する日本人専門家や現地再委託先の調査員の「安全第一」を原則とし、回答に当たっては、現地の関係機関(NRA、UXO Lao Xepon事務所、等)に正確な情報を確認した上でご回答いただけますよう、お願い致します。</p>   | ラオス政府に確認の上、必要に応じラオス政府側と調整いたします。   | 2026年3月25日 |
| 2026年4月8日 | 26a00081000000 | ラオス国国道9号線における橋梁架け替え計画準備調査                                    | 社会基盤部運輸交通グループ     | <p>我が国が先に実施した国道9号線の橋梁架け替え事業では、本邦技術適用の観点等から、橋梁形式として、ラオスの汎用技術ではない、日本の鋼材を用いた「合成床版」が選択されています。</p> <p>他方、今回の事業対象2橋梁は、① 支間長(小規模な支線河川に架かる橋梁)、② ラオス全国の標準的な橋梁設計、③ 全国レベルの橋梁維持管理技術に係る汎用性、④ 対象2橋梁の建設場所(相対的に維持管理が難しいベトナム国境に近い遠隔地)、⑤ ラオス国内における資機材の調達可能性、⑥ コスト(CAPEX/OPEX)等の観点から、在来のコンクリート橋も妥当な選択肢となります。</p> <p>こうした先行事業との条件の違いから、橋梁形式として「合成床版」を採用することは、必ずしも本事業の設計上の前提条件にはならない、と考えてよろしいでしょうか。</p>   | プロポーザルにて、橋梁の形式の考え(項目等)についてご提案いただき、最適だと思われる橋梁形式をご提案いただけますと幸いです。  | 2026年3月25日 |
| 2026年4月8日 | 26a00081000000 | ラオス国国道9号線における橋梁架け替え計画準備調査                                    | 社会基盤部運輸交通グループ     | <p>上記の橋梁形式と関連し、事業対象の2橋のうちホワイ・タ・ポアン橋から東に500mの地点に道路線形が好ましくない(ブロークンバックカーブ状の)区間があり、上記の橋梁形式等のコスト面の合理化により、かかる区間の道路線形の修正を事業に含めることも技術的に妥当と思料致します。</p> <p>JICAでは、こうした事業範囲の変更も想定しておりますでしょうか。</p>   | 事業費との兼ね合いもありますが、道路線形の修正を事業に含めることが合理的(交通事故が多発している等)であると外務省及びJICAが判断した場合、道路線形の修正を事業に含めることはあり得ると考えております。 | 2026年3月25日 |
| 2026年4月8日 | 26a00086000000 | コンゴ民主共和国産業振興及びビジネス環境整備に関する情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式)ーランプサム型) | 経済開発部民間セクター開発グループ | <p>調査内容として、「中小企業支援のパイロットプログラムの企画・実施及び結果とりまとめ」が含まれていますが、想定されておられる内容についてご教示ください。</p>   | 公示をお待ちください。   | 2026年4月1日  |
| 2026年4月8日 | 26a00086000000 | コンゴ民主共和国産業振興及びビジネス環境整備に関する情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式)ーランプサム型) | 経済開発部民間セクター開発グループ | <p>業務主任者に求められる語学能力は。</p>   | 英語(フランス語ができれば尚良し)。  | 2026年4月1日  |

| 公示予定日     | 調達管理番号         | 案件名  | 担当部・課             | 質問内容  | 回答   | 回答日        |
|-----------|----------------|--|-------------------|---|--|------------|
| 2026年4月8日 | 26a00086000000 | コンゴ民主共和国産業振興及びビジネス環境整備に関する情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式)ーランプサム型) | 経済開発部民間セクター開発グループ | 本件では、業務管理グループの適用を検討されておりますでしょうか？  | 本件は総合評価落札方式のため、業務管理グループ(副業務主任)は想定していません。   | 2026年3月25日 |
| 2026年4月8日 | 26a00086000000 | コンゴ民主共和国産業振興及びビジネス環境整備に関する情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式)ーランプサム型) | 経済開発部民間セクター開発グループ | コンゴ民への渡航回数想定と、ルブンバシ市、コルウェジ市へ渡航回数の想定をご教示ください   | コンゴ民への渡航回数は、延べ8回を想定しています。各市への渡航回数については、公示をお待ちください。   | 2026年4月1日  |
| 2026年4月8日 | 26a00086000000 | コンゴ民主共和国産業振興及びビジネス環境整備に関する情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式)ーランプサム型) | 経済開発部民間セクター開発グループ | コンゴ民の産業振興の文脈では、工業団地等のインフラ整備は含まれますでしょうか。   | コンゴ民のビジネス環境を把握するために工業団地等の情報を収集することや、産業振興・中小企業振興にかかる課題として工業団地等のインフラ整備の必要性について検討すること等は考えられます。なお、本案件のパイロットプログラムとしては、インフラ整備は含まず、カイゼン・ビジネス開発サービス等の中小企業支援を想定しています。 | 2026年4月1日  |
| 2026年4月8日 | 26a00135000000 | 全世界(広域)全世界復興に向けて地域を元気にするまちづくりのためのプロジェクト研究(プロジェクト研究)          | 社会基盤部都市・地域開発グループ  | 「若手(業務主任)の配置を歓迎」とのことですが、業務管理グループの設定を想定されていますか。  | 回答準備中です。   | 2026年4月1日  |
| 2026年4月8日 | 26a00135000000 | 全世界(広域)全世界復興に向けて地域を元気にするまちづくりのためのプロジェクト研究(プロジェクト研究)          | 社会基盤部都市・地域開発グループ  | 「有識者に助言をいただく国内支援委員会を設置予定」とありますが、有識者は貴機構にて選定されるのか、受注者に提案が求められるのか、どちらでしょうか。また、後者の場合は、提案する人数や専門分野に関する想定も合わせてご教示ください。 | 回答準備中です。   | 2026年4月1日  |
| 2026年4月8日 | 26a00135000000 | 全世界(広域)全世界復興に向けて地域を元気にするまちづくりのためのプロジェクト研究(プロジェクト研究)          | 社会基盤部都市・地域開発グループ  | スタディツアー(現地視察)とは、本邦招へいではなく、貴機構および受注者によるものとの認識で良いでしょうか。現時点で想定する訪問先があれば合わせてご教示ください。                                  | 回答準備中です。   | 2026年4月1日  |
| 2026年4月8日 | 26a00135000000 | 全世界(広域)全世界復興に向けて地域を元気にするまちづくりのためのプロジェクト研究(プロジェクト研究)          | 社会基盤部都市・地域開発グループ  | 本案件は国内業務のみ(現地渡航なし)という理解で良いでしょうか。  | 回答準備中です。   | 2026年4月1日  |
| 2026年4月8日 | 26a00135000000 | 全世界(広域)全世界復興に向けて地域を元気にするまちづくりのためのプロジェクト研究(プロジェクト研究)          | 社会基盤部都市・地域開発グループ  | 契約区分は『企画競争従来型』で、実費精算契約という理解でよろしいでしょうか。  | 回答準備中です。   | 2026年4月1日  |
| 2026年4月8日 | 26a00135000000 | 全世界(広域)全世界復興に向けて地域を元気にするまちづくりのためのプロジェクト研究(プロジェクト研究)          | 社会基盤部都市・地域開発グループ  | 「地域を元気にするまちづくり」について、特に重視するセクターがあればご教示ください(防災、福祉、交通、雇用など)。   | 回答準備中です。   | 2026年4月1日  |
| 2026年4月8日 | 26a00135000000 | 全世界(広域)全世界復興に向けて地域を元気にするまちづくりのためのプロジェクト研究(プロジェクト研究)          | 社会基盤部都市・地域開発グループ  | 事例レビューをする事例の数はどの程度を想定されていますでしょうか。   | 回答準備中です。   | 2026年4月1日  |
| 2026年4月8日 | 26a00135000000 | 全世界(広域)全世界復興に向けて地域を元気にするまちづくりのためのプロジェクト研究(プロジェクト研究)          | 社会基盤部都市・地域開発グループ  | 「事例集」は冊子等配布出来る形のものを作成するのでしょうか。それとも通常の報告書形式で良いのでしょうか。  | 回答準備中です。   | 2026年4月1日  |
| 2026年4月8日 | 26a00135000000 | 全世界(広域)全世界復興に向けて地域を元気にするまちづくりのためのプロジェクト研究(プロジェクト研究)          | 社会基盤部都市・地域開発グループ  | 事例レビューと坂本町でのシナリオ検討とはどのような関係を想定されていますでしょうか。  | 回答準備中です。   | 2026年4月1日  |
| 2026年4月8日 | 26a00135000000 | 全世界(広域)全世界復興に向けて地域を元気にするまちづくりのためのプロジェクト研究(プロジェクト研究)          | 社会基盤部都市・地域開発グループ  | 復興については、様々な災害が想定されますが、事例収集においては特定の災害を意識されているでしょうか。また、事例の地域については何らかの人口規模や同種の背景等を想定されているでしょうか。                      | 回答準備中です。   | 2026年4月1日  |
| 2026年4月8日 | 26a00135000000 | 全世界(広域)全世界復興に向けて地域を元気にするまちづくりのためのプロジェクト研究(プロジェクト研究)          | 社会基盤部都市・地域開発グループ  | 日本における取組と海外における取組では、技術の利活用や社会受容の観点からいっても差が見られますが、将来的にどのような国や地域、災害を念頭に検討されているでしょうか。意識すべき都市等あれば教えてください。             | 回答準備中です。   | 2026年4月1日  |

| 公示予定日      | 調達管理番号         | 案件名   | 担当部・課              | 質問内容  | 回答  | 回答日       |
|------------|----------------|---|--------------------|---|---|-----------|
| 2026年4月8日  | 26a00135000000 | 全世界(広域)全世界復興に向けて地域を元気にするまちづくりのためのプロジェクト研究(プロジェクト研究)   | 社会基盤部都市・地域開発グループ   | 人口予測推計の実施主体は、受託者を想定していますか。それとも貴機構や自治体等が実施した結果を提供いただけるのでしょうか。  | 回答準備中です。  | 2026年4月1日 |
| 2026年4月8日  | 26a00135000000 | 全世界(広域)全世界復興に向けて地域を元気にするまちづくりのためのプロジェクト研究(プロジェクト研究)   | 社会基盤部都市・地域開発グループ   | 人口予測等の推計については、どのような規模を想定されていますか(自治体レベル、集落レベルなど)。  | 回答準備中です。  | 2026年4月1日 |
| 2026年4月8日  | 26a00135000000 | 全世界(広域)全世界復興に向けて地域を元気にするまちづくりのためのプロジェクト研究(プロジェクト研究)   | 社会基盤部都市・地域開発グループ   | 本業務の背景と目的をより理解したく、貴機構の支援対象として熊本県八代市坂本町を特定した経緯をご教示いただけますか？   | 回答準備中です。  | 2026年4月1日 |
| 2026年4月8日  | 26a00135000000 | 全世界(広域)全世界復興に向けて地域を元気にするまちづくりのためのプロジェクト研究(プロジェクト研究)   | 社会基盤部都市・地域開発グループ   | 現時点で「優良事例」として想起される地域・プロジェクトはありますか？またその理由についてもお伺いしたいです。  | 回答準備中です。  | 2026年4月1日 |
| 2026年4月8日  | 26a00135000000 | 全世界(広域)全世界復興に向けて地域を元気にするまちづくりのためのプロジェクト研究(プロジェクト研究)   | 社会基盤部都市・地域開発グループ   | 「有識者に助言をいただく国内支援委員会」とは、どのようなバックグラウンドのメンバーで何名くらいを想定されていますか？  | 回答準備中です。  | 2026年4月1日 |
| 2026年4月8日  | 26a00135000000 | 全世界(広域)全世界復興に向けて地域を元気にするまちづくりのためのプロジェクト研究(プロジェクト研究)   | 社会基盤部都市・地域開発グループ   | 復興まちづくりのシナリオ案はどの程度先の期間までを想定されていますか？   | 回答準備中です。  | 2026年4月1日 |
| 2026年4月8日  | 26a00135000000 | 全世界(広域)全世界復興に向けて地域を元気にするまちづくりのためのプロジェクト研究(プロジェクト研究)   | 社会基盤部都市・地域開発グループ   | プレ公示の留意事項に、「若手(業務主任)の配置を歓迎します。」とありますが、業務管理グループ対象の案件になる可能性はあるのでしょうか。   | 回答準備中です。  | 2026年4月1日 |
| 2026年4月8日  | 26a00135000000 | 全世界(広域)全世界復興に向けて地域を元気にするまちづくりのためのプロジェクト研究(プロジェクト研究)   | 社会基盤部都市・地域開発グループ   | 業務内容にスタディツアー(現地視察)とありますが、誰を対象にしたスタディツアーを想定されていますでしょうか。  | 回答準備中です。  | 2026年4月1日 |
| 2026年4月8日  | 26a00135000000 | 全世界(広域)全世界復興に向けて地域を元気にするまちづくりのためのプロジェクト研究(プロジェクト研究)   | 社会基盤部都市・地域開発グループ   | 業務従事者の専門性として、まちづくり及び都市計画に係る専門性が求められていますが、国内の経験はどれくらい評価されますか。  | 回答準備中です。  | 2026年4月1日 |
| 2026年4月8日  | 26a00135000000 | 全世界(広域)全世界復興に向けて地域を元気にするまちづくりのためのプロジェクト研究(プロジェクト研究)   | 社会基盤部都市・地域開発グループ   | 業務内容の「スタディツアーの実施」について、スタディツアーの参加者構成についてご教示ください。八代市・坂本町関係者のほか、有識者や他自治体関係者の参加も想定されていますか。また、視察先の選定は受注者が提案する形でしょうか。                           | 回答準備中です。  | 2026年4月1日 |
| 2026年4月8日  | 26a00135000000 | 全世界(広域)全世界復興に向けて地域を元気にするまちづくりのためのプロジェクト研究(プロジェクト研究)   | 社会基盤部都市・地域開発グループ   | 本業務の成果物(事例集・ナレッジ文書)について、主たる想定読者と活用場面をお教えてください。特に、将来的な途上国支援メニューへの転用を見据えた英語版サマリー等の作成は業務スコープに含まれますか。   | 回答準備中です。  | 2026年4月1日 |
| 2026年4月8日  | 26a00135000000 | 全世界(広域)全世界復興に向けて地域を元気にするまちづくりのためのプロジェクト研究(プロジェクト研究)   | 社会基盤部都市・地域開発グループ   | 留意事項に「若手(業務主任)の配置を歓迎」とありますが、業務主任に求める専門性の方向性(まちづくり・都市計画分野での実務経験等)についてお教えてください。また、JVや補強による体制構築に関して制約があればご教示ください。                            | 回答準備中です。  | 2026年4月1日 |
| 2026年4月15日 | 26a00093000000 | インドネシア国ジャクアラ大学病院整備・災害強靭化事業準備調査【有償勘定技術支援】(QCBS-ランプサム型) | 東南アジア・大洋州部東南アジア第一課 | 現時点で想定している具体的な本邦技術がありましたらご教示いただけますでしょうか。  | 現時点で想定している具体的な本邦技術はありません。協力準備調査において、コストとのバランスや、複数応札確保等のインドネシア政府の国内調達ルールとの整合性も踏まえつつ、活用可能な本邦技術を検討する想定です。                | 2026年4月1日 |
| 2026年4月15日 | 26a00093000000 | インドネシア国ジャクアラ大学病院整備・災害強靭化事業準備調査【有償勘定技術支援】(QCBS-ランプサム型) | 東南アジア・大洋州部東南アジア第一課 | プレ公示では、ジャクアラ大学が実施機関(Implementing Agency)と理解します。インドネシアの制度上、大学が直接所有、運営する大学病院は高等教育省の管理下です。したがって、高等教育省が事業責任機関(Executing Agency)と理解して宜しいでしょうか？ | ご理解いただいている通り、本事業の実施機関(Implementing Agency)はジャクアラ大学、監督省庁(Executing Agency)は高等教育省となります。高等教育省の統括の下、ジャクアラ大学が事業の実施を担う想定です。 | 2026年4月1日 |
| 2026年4月15日 | 26a00093000000 | インドネシア国ジャクアラ大学病院整備・災害強靭化事業準備調査【有償勘定技術支援】(QCBS-ランプサム型) | 東南アジア・大洋州部東南アジア第一課 | 保健省と高等教育省の連携の枠組みと、保健省のPPKK(Center for Health Crisis Management)の本事業における位置づけは、調査段階で確認することになるのでしょうか？  | 両省の連携の枠組みや保健省のPPKK含む関連するインドネシア側の事業の本件における位置づけは、協力準備調査にて確認する想定です。  | 2026年4月1日 |

| 公示予定日      | 調達管理番号         | 案件名   | 担当部・課              | 質問内容   | 回答   | 回答日       |
|------------|----------------|---|--------------------|--|--|-----------|
| 2026年4月15日 | 26a00093000000 | インドネシア国ジャクアラ大学病院整備・災害強靱化事業準備調査【有償勘定技術支援】(QCBS-ランプサム型) | 東南アジア・大洋州部東南アジア第一課 | 事業規模の想定(円借款想定額、施設・機材規模、フェローシップ有無)を可能な範囲で教えてください。   | 事業規模については対外秘情報ですので、現時点で公表することができません。   | 2026年4月1日 |
| 2026年4月15日 | 26a00116000000 | インド国日印半導体連携促進に係る情報収集・確認調査(QCBS-ランプサム型)                | 南アジア部南アジア第一課       | これまでも日印半導体連携に係る調査事業等を実施されてきていると承知。今回JICAとして獲得したい成果・過去事業との差分などを伺いたい   | 今回の調査内容の詳細については、公示書類をご覧ください。   | 2026年4月1日 |
| 2026年4月22日 | 26a00102000000 | タジキスタン国プライマリヘルスケアサービスの質の改善プロジェクトフェーズ2                 | 人間開発部保健第二グループ      | 【業務内容】「PHCレベルのNCDs予防・管理施策案の展開の模索」の”展開の模索”とはどの程度の活動をイメージしていますか。展開するにあたって、プロジェクト実施期間中の対象地域外での活動なども想定されていますか。   | 本件協力成果のパッケージ化、体系化を図ることで、他地域への展開可能性を高めることを想定しています。対象地域外での活動は想定していません。   | 2026年4月1日 |
| 2026年4月22日 | 26a00102000000 | タジキスタン国プライマリヘルスケアサービスの質の改善プロジェクト フェーズ2                | 人間開発部保健第二グループ      | 想定されている研修の対象人数および1回あたりの規模感について、現時点での想定があればご教示ください。   | 公示情報にてご確認ください。   | 2026年4月1日 |
| 2026年4月22日 | 26a00102000000 | タジキスタン国プライマリヘルスケアサービスの質の改善プロジェクト フェーズ2                | 人間開発部保健第二グループ      | 研修の実施回数について、全体期間を通じた想定回数やフェーズごとの目安等がございましたらご教示ください。  | 同上   | 2026年4月1日 |
| 2026年4月22日 | 26a00102000000 | タジキスタン国プライマリヘルスケアサービスの質の改善プロジェクト フェーズ2                | 人間開発部保健第二グループ      | プロジェクト車両の配置の有無についてご教示ください。   | 同上   | 2026年4月1日 |
| 2026年4月22日 | 26a00102000000 | タジキスタン国プライマリヘルスケアサービスの質の改善プロジェクト フェーズ2                | 人間開発部保健第二グループ      | パイロットサイトは確定済みかご教示ください。   | 同上   | 2026年4月1日 |
| 2026年4月22日 | 26a00102000000 | タジキスタン国プライマリヘルスケアサービスの質の改善プロジェクト フェーズ2                | 人間開発部保健第二グループ      | 調達を想定されている機材の種類および数量について、現時点での想定または参考情報がございましたらご教示ください。  | 同上   | 2026年4月1日 |
| 2026年4月22日 | 26a00106000000 | シリア国平和構築・復興支援に係る情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式-ランプサム型))    | ガバナンス・平和構築部平和構築室   | 活動内容に「復興事業に地雷回避教育・調査・除去を組み込む手法についてパイロット事業を実施し、実効性を検証する」とありますが、昨年、国際機関と連携した無償資金協力での地雷及び不発弾除去及び農業インフラ復旧の対象地域(イドリブ県、アレッポ県、ハマ県)と同じ地域を想定されているのでしょうか？現時点でご教示いただけることがあれば幸いです。 | 調査対象はシリア全土としていますが、詳細な各分野の調査やパイロット事業の実施は、将来的なJICA事業への適用やローカルの連携先の有無なども想定し、一定程度絞り込む予定としています。詳細は公示内容をご確認ください。               | 2026年4月1日 |
| 2026/4/22  | 26a00106000000 | シリア国平和構築・復興支援に係る情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式-ランプサム型))    | ガバナンス・平和構築部平和構築室   | 本案件では、業務管理グループの設定を検討されていますでしょうか。   | 総合評価落札方式による選定を予定しているため、業務管理グループは想定していません。  | 2026年4月1日 |
| 2026年4月22日 | 26a00106000000 | シリア国平和構築・復興支援に係る情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式-ランプサム型))    | ガバナンス・平和構築部平和構築室   | 本案件は、日本国内からの遠隔実施を前提としているのでしょうか。それとも、シリア以外の第三国に渡航して業務を実施することも想定されていますでしょうか。また、第三国での現地業務の実施を想定している場合、その実施時期の目途があればご教示ください。   | 日本国内からの遠隔調査を前提としていますが、シリア周辺国への渡航による業務実施も想定しています。実施時期は特段の想定はありませんので、プロポーザルにて提案ください。但し、中東情勢やその時点での安全対策措置による制約があることご留意ください。 | 2026年4月1日 |
| 2026年5月13日 | 25a01007000000 | マダガスカル国鉱業分野産業人材強化プロジェクト                               | 社会基盤資源・エネルギーグループ   | 本件では、履行期間に比して想定人月が通常よりも抑えられているように思われますが、業務管理グループの設定は検討されていますか。   | 第三国研修・専門家招へいの活用を想定し、投入を絞って実施する予定です。また、業務管理グループの設定は現段階では検討しておりません。  | 2026年4月1日 |
| 2026年5月13日 | 25a01007000000 | マダガスカル国鉱業分野産業人材強化プロジェクト                               | 社会基盤資源・エネルギーグループ   | 第三国研修と専門家の招へいは、どれくらいの期間、何回くらい実施することを想定されていますか。実施費用は別見積もりとなりますか。  | 現在、費用の見積もり方法を含め詳細計画を検討中です。   | 2026年4月1日 |
| 2026年5月20日 | 26a00150000000 | マラウイ国リロングウェ市北部変電所整備計画準備調査                             | 社会基盤部資源・エネルギーグループ  | 本件が3/25掲載のプレ公示情報より消え、公示もされていません。理由をご教授いただけますでしょうか。   | 本件につきましては、事業実施時期の整理に伴い、3月25日付で掲載していた調達予定案件情報を一旦取り下げております。4月1日以降に改めて掲載する予定としております。改めての公示は、5月中下旬を予定しております。                 | 2026年4月1日 |
| 2026年5月20日 | 26a00150000000 | マラウイ国リロングウェ市北部変電所整備計画準備調査                             | 社会基盤部資源・エネルギーグループ  | 再公示になる予定はありますでしょうか。  | 同上   | 2026年4月1日 |

| 公示予定日      | 調達管理番号        | 案件名                       | 担当部・課                 | 質問内容   | 回答   | 回答日       |
|------------|---------------|---------------------------|-----------------------|--|--|-----------|
| 2026年5月20日 | 26a0015000000 | マラウイ国リロングウェ市北部変電所整備計画準備調査 | 社会基盤部<br>資源・エネルギーグループ | 再公示となる場合、公示予定日をご教授いただけますでしょうか。   | 同上   | 2026年4月1日 |
| 2026年5月20日 | 26a0015000000 | マラウイ国リロングウェ市北部変電所整備計画準備調査 | 社会基盤部資源・エネルギーグループ     | 3月18日時点でプレ公示にて掲載されていた「マラウイ国リロングウェ市北部変電所整備計画準備調査」につきまして、3月25日プレ公示リストからは同案件の記載が削除されておりました。こちらの案件につきましては、近日中(ここ数日~1週間程度)に再度プレ公示にて掲載されるという想定で宜しかったですでしょうか。 | 本件につきましては、事業実施時期の整理に伴い、3月25日付で掲載していた調達予定案件情報を一旦取り下げております。4月1日以降に改めて掲載する予定としております。改めての公示は、5月中下旬を予定しております。 | 2026年4月1日 |